

●今日の声かけ いきいき未来●

愛育

NO. 50
2026

発行／令和8年3月30日
編集発行／社会福祉法人
恩賜財団母子愛育会愛育推進部
〒106-8580

東京都港区南麻布5-6-8

TEL 03-3473-8315

URL <http://www.boshiaiikukai.jp/>



令和7年度の活動を振り返って



模範愛育班指定書授与（三郷市母子愛育会）

第60回愛育班長研修会



受講生と三郷市母子愛育会の皆さん

シンポジウム「愛育・地域づくり活動交流会」



登壇者と総裁秋篠宮皇嗣妃殿下

第57回愛育班員全国大会 式典



お言葉を述べられる秋篠宮皇嗣妃殿下



総裁表彰授与（さいたま市母子愛育会）



第57回愛育班員全国大会 (令和7年4月22日)

表彰を受けられた皆さまの喜びの声

総裁 秋篠宮皇嗣妃殿下のご臨席のもと、明治記念館にて表彰式を開催いたしました。総裁表彰1団体、会長表彰に班員10名、育成者3名と4団体が表彰を受けました。

会長表彰 愛育班員

埼玉県 久喜市母子愛育会 鳴海美代恵

全国大会で会長表彰を頂き心より喜びと感謝致します。地域活動に参加出来る事は、私自身素晴らしい人生を送っていると思っております。健康でいる限り地域の皆と幸せを感じる毎日を目指してまいります。

埼玉県 三郷市母子愛育会 高山美年子

この度の受賞は、三郷市母子愛育会の代表として頂きました。時代の変化に、戸惑いや心が折れることもあります。活動する仲間がいることが大きな力となっています。最高の一日でした。ありがとうございました。

兵庫県 香美町愛育会 東 恵美子

このたびは母子愛育会会長表彰をいただき感謝の気持ちでいっぱいです。一人の力ではなく、先輩や班員みんなで取り組んできたことによる栄誉ある表彰だと思っています。“人の輪が大切”を心の糧に過ごしていきたいと思っています。

香川県 城西母子愛育班 秋山ともえ

総裁との歓談では「すてきな笑顔ね」とのお言葉を賜り、今後の活動でも笑顔忘れずに声かけ・見守りを続けていこうと思いました。このような機会を頂けたことに感謝し、精進してまいります。

総裁表彰

さいたま市保健愛育会

団体として総裁表彰をいただき身に余る思いです。総裁とのお歓談にて、少子高齢化の話聞いていただき、また、心に響くお言葉も頂きました。良い経験をさせていただきましたこと、感謝し光栄に思っております。

埼玉県 志木市愛育班 吉田かほる

栄誉ある賞を頂戴し、深く感動しております。この度の受賞は全ての志木市愛育班員への激励と受けとめております。これからも子ども達の健やかな成長を願い、見守り、声かけ等の活動を続けていきたいと存じます。

山梨県 甲府市愛育連合会 山本 秀樹

今回の表彰は、大変光栄な事と感謝し、愛育会活動を皆さんと共に長年続けて来た結果だと思っております。総裁よりお言葉を賜り、この上ない幸せを感じ、この気持を心の支えに愛育会活動を続けて参ります。

山梨県 都留市愛育会 吉田富士子

会長表彰をいただき誠にありがとうございました。班員はもとより多くの方々のお力添えのおかげです。この世に生まれた新しい命は地域の宝です。地域で見守り、健やかに育っていくことを願って活動を続けてまいります。



大分県 宇佐市愛育会
北部愛育班 尾島 京子

会長表彰、謝辞を述べる栄誉を賜り光栄に思います。関係機関の皆様や多くの方々のご支援、共に活動する愛育班員のおかげと感謝しています。今後も幅広い世代が健康で安心して生活できる地域づくりに努めてまいります。

岡山県 津山市愛育委員連合会
松本 静江

今回、思いがけない賞をいただき大変光栄です。総裁との歓談では、岡山県のご視察のことを覚えてくださっていて感激いたしました。愛育委員活動の大切さを再認識し、これからも地域活動に尽力してまいります。

香川県 小豆島町あいいく会
山本 香織

我が子も自分自身も、地域の方々と共に愛育活動の輪の中で育ててもらえたと感謝しています。今後も若い世代ならではのアイデアと行動力で人を繋ぎ、関わり支え合える居場所づくりに尽力して参ります。

大分県 豊後高田市役所
健康推進課 中村 久美

総裁より、日々の活動に対する労いや感謝のお言葉を戴き感銘を受けました。これまで共に活動してきた愛育班の皆様へ感謝しています。今後も地域の健康づくりと住民の笑顔のため、愛育班活動を支えていきたいと思っております。

岡山県 岡山県備中県民局
健康福祉部井笠地域保健課
井上 五月

この度は、輝かしい賞を頂戴し誠に光栄です。保健師として育てて頂き、ともに育ち合ってきた愛育委員さん方のお陰だと、感謝の気持ちでいっぱいです。岡山県の「愛育委員は世の光、世の守、世の力」(愛育委員の歌)です！

会長表彰 育成者

兵庫県 丹波篠山市
保健福祉部 健康課
臼井 幾子

緊張の1日でしたが総裁との歓談や全国の愛育班員さんとの出会い、班員さんと保健師がともに支え合い、お互いに成長できる良い関係の中で活動できていることを教えていただきました。ありがとうございました。

会長表彰 団体

山梨県 小菅村愛育会

全国大会での表彰、総裁のお言葉はこれからの小菅村での活動に大変自信となりました。この充実感を班員全員で共有し、様々な困難を乗り越え、ますます努力を続けていきたいと思っております。

山形県 米沢市三沢母子愛育班

総裁とご歓談の際、やさしい笑顔でお話し下さり今後の励みになりました。このような機会に恵まれた事に感謝し、先輩方が地区の幸せを願い絶やさず歩んできた歴史を繋いで行きたいと思っております。

兵庫県 洲本市大野地区愛育班

この度は、愛育班功労者表彰をいただきありがとうございます。地域で45年続く活動が認められ嬉しく思います。総裁よりいただいた激励の言葉を励みに、今後も地域の健康づくりに努めてまいります。

茨城県 城里町母子愛育会

栄えある表彰を授かり、感謝申し上げます。総裁に、城里町愛育会の活動についてお伝えし、「今私たちにできることを精一杯活動していく所存です」とお伝えいたしました。総裁からは「今現在を一生懸命になること、そして希望を持って毎日を行動しております」とのお言葉を頂きました。『皆、同じなのだ』と確信いたしました。総裁のお言葉を支えに、これからも愛育会活動に励んでいきたいと思っております。



愛育班員の手記

優秀作を受賞した前澤さんが手記を朗読されました。

- | | | |
|-----|-------------------------------|----------------------------|
| 優秀作 | 一人じゃないと思える安心と信頼を
もてる地域にしたい | 前澤美代子 (山梨県) |
| 佳作 | 幸せの糸
語り継ぐこと | 松隈富美子 (山形県)
後藤 泰子 (兵庫県) |

秋篠宮皇嗣妃殿下と佳子内親王殿下は、10月2日から3日の2日間、「瀬戸内国際芸術祭2025」のご臨席のため香川県にお成りになりました。合わせて小豆島町役場にて愛育班活動をご視察されました。

香川県母子愛育連合会（香川県支部）会長の中西久美子さんの御先導で、香川県支部理事とご懇談、小豆島町あいいく会の「あいいく広場」でベビーマッサージに参加した親子さんと交流を持たれました。とても和やかで楽しい時間となり、参加された皆さんの良い思い出になるとともに、香川県内外にむけて愛育班活動を知って頂く機会となりました。

当日のご視察の様子と、参加した親子さんや、中西久美子会長、今城志保小豆島町あいいく会会長のインタビューを掲載した動画を、愛育推進のホームページでご覧ください。



秋篠宮皇嗣妃殿下 の 香川県お成り

令和7年10月3日(金)



香川県母子愛育連合会（香川県支部）の理事の皆さんとのご懇談

観音寺市愛育会は、「グーチョキパーで愛・♥・あい」という歌とダンスの動画を作成しています。歌詞は「愛育会」にしているので全国の愛育会でも活用が可能です。

活用される場合は、観音寺市愛育会事務局（0875-23-7899）までご一報ください。

歌とダンスの動画は「[愛育推進HP > こんな活動で地域を元気にしています](#)」にて公開中



（観音寺市動画）

秋篠宮皇嗣妃殿下は、「愛育・地域づくり活動交流会」に出席のため本会にお成りになり、班員の皆さんと一緒にシンポジウムをご聴講されました。終了後、登壇者や参加した皆さんにねぎらいのお声かけを頂きました。

令和7年度の「愛育・地域づくり活動交流会」は、全国の班員の皆さんとの学習と交流の場としてシンポジウム形式で計画しました。「命の大切さを子どもたちが実感できる、地域の大人たちの存在や役割を知り安心感や信頼を育む」ことを目的に、基調講演や健康教育実践報告、パネルトークなどを行いました。本会4階の研修室に、40人ほどの愛育班員や育成者がつどい楽しく充実した学びの場となりました。

秋篠宮皇嗣妃殿下 の 本会お成り

令和7年11月5日(水)



■シンポジウムテーマ いのちをつなぐ まちのチカラ ～子どもたちに伝える、命と地域のつながり～

（シンポジウムの内容は6ページをご覧ください）

受講生のアンケートから

それぞれの地域での活動を知ることができ、とても有意義な時間でした。本日の内容を班員にフィードバックしていこうと思います。

「プレコンセプションケア」って新しい言葉だけど、今までしてきた愛育の活動がそれに基づいていることを確信しました。

登壇者の感想

前澤 美代子さん（山梨県笛吹市）

シンポジウムでは、地域の子カラとして自然に生まれた笛吹市の魅力とともに、人間も自然の一部にすぎないけれど尊いいのちを持った存在であることを中心にお話させていただきました。皆様が熱心に聴いて下さり、同じ気持ちと夢を持っている仲間が存在にとっても励まされました。このような機会をいただき感謝申し上げます。

長谷井 真千子さん（岡山県玉野市）

今回の交流会で、次世代を担う子どもたちの健康や幸せのために知っておくべきことや活動の先進事例を知り大変勉強になりました。参加された方々も今後の活動の参考になったのではと思います。愛育委員はどこの地域でも担い手不足の課題はありますが、工夫をしながらできる活動を、そしてそれを楽しみながらできるように一緒に考えていけたらと思います。ありがとうございました。



愛育の心につれて

母子愛育会総裁

秋篠宮紀子

今から六年前、香川県丸亀市を訪れ、愛育班の活動を見学しました。その折に、小豆島で子育てしている若いお母さま方が愛育の活動に積極的に取り組まれていることを伺い、いつかお会いできたらと思っておりました。そうした中で、昨年十月、瀬戸内国際芸術祭にあたって香川県を訪問したとき、娘の佳子と小豆島を訪れる機会に恵まれました。オリブの木が豊かに実をつけている頃でした。船の甲板から望む穏やかな瀬戸内海や島々の眺めとともに、香川県愛育連合会や保健師の皆さまとお会いしたことは大切な思い出になりました。



香川県愛育連合会は、半世紀以上にわたり、多様な活動を続けてこられました。近年は、班員の高齢化や共働き世帯の増加などによる会員の減少といった課題を抱えつつ、若い世代が参加しやすい環境や世代を超えた交流の機会をつくるなど、工夫をされながら、子育てをしている親と子どもが地域で孤立しないために、地域ぐるみの活動やイベントを企画、実施していると伺い、大変心強く感

じています。また小豆島に暮らすお母さま方や赤ちゃんたちと一緒に楽しい時間をすごしました。「バスにのって」の遊び歌に参加し、「ゴーゴー」とかけ声をかけながら皆で元気に体を動かしたり、お子さまを抱いているお母さま方とおしゃべりしたりと、心むむひとときでした。

令和五年愛育班員全国大会において優秀作に選ばれた小豆島町あいき会の方の手に、一人で抱え込まずに誰かに甘え、周りに頼って自分を大切に生きていってほしいと書か

れていた言葉も心に残っています。小豆島の地で、皆さまの優しく温かい「愛育」の輪がこれからも広がっていくことと思います。

昨年十一月には、東京の母子愛育会において、シンポジウム「愛育・地域づくり活動交流会」が開催されました。

シンポジウムでは、プレコンセプトシヨンケア（妊娠前のケア）について聴講し、これまで愛育班が取り組まれてきた、若いときから自分自身や人々の健康を大切にすることを伝える活動とつながっていると感じました。また各地の愛育班員や保健師の皆さまが、若い世代を対象にした取り組みに力を入れ、中学生たちが妊婦ジャケツトを着て重量感や動きにくさを体験することや、赤ちゃんといふれ合う温もりを感じる抱っこを体験することなどを通じて、命の重みや尊さ、子育てへの理解を深める活動をおこなっているというお話を伺いました。

皆さまのお話は尽きることがありませんでした。愛育班の活動が生きがいである、愛育班にしかできないことがある、愛育班員と保健師が支え合いながら子どもの成長を見守っていききたいなど、熱い思いを生き生きとお話くださいました。愛育班員と

保健師がお互いに必要な存在として、息の長い関係が築かれていることもうれしく思いました。

このように地域の人々の暮らしに寄り添う仲間が集まり、お互いの思いを伝えあうことで、絆がさらに強まり、「愛育の心」が一層つながっていくように感じられました。



愛育推進 HP には、愛育班活動のヒントが沢山掲載されています。

本部からの発信に加え、愛育班員の皆さんからの投稿も参考になります。是非、皆さんもホームページをご覧ください！そして、皆さんの活動をご紹介します！

① 愛育推進 HP の研修動画をご覧ください！ (アクセス方法は7ページ参照)

令和7年11月5日に開催したシンポジウム「愛育・地域づくり活動交流会」は、愛育推進ホームページの「みんなの愛育班」の班員研修のページで一番下までスクロールしていただくと動画が視聴できます。是非、皆さんのこれからの愛育班活動の参考にしてください。ここでは、そのエッセンスをお伝えします。



基調講演 「子どもの未来を支えるために知っておきたいプレコンセプションケア」

京都橘大学看護学部准教授 長坂 桂子
先生にお話しいただきました。

皆さん、「プレコンセプションケア（以下「プレコン」という）」って最近よく耳にするけど、何のこと？ 難しくてピンとこないという方も多いのではないのでしょうか。でも、実は全く新しい考え方ではなさそうです。

長坂先生は、いにしえからある生活の知恵に、最新の医学的・社会的・科学的な知識が加わったものが「プレコン」と、毛糸のパンツを例にあげ、祖母や母から「女の子はおしりやおなかを冷やさないように」と毛糸のパンツを勧められたけど、それは今ではなく将来のために今から備える考え方であったと説明されました。

乾布摩擦やお見合いが常識の時代から、結婚しても仕事を一生続けることを希望することが男女ともに当たり前になって、パパも子育てに参加する「共育」の時代に変化していることなど、「医学の常識」と「暮らしの当たり前」が大きく変わり、そのおかげで「妊娠してから」ではなく「妊娠前」にしておいた方が良いことが分かってきた。「妊娠前の生活習慣が幸せの備えになる」ことが「プレコンセプションケア」とわかりやすく解説しています。詳しくは、動画を視聴ください。

3つの愛育班から健康教育実践報告を行いました。

埼玉県入間市母子愛育会「青少年育成事業 育児体験・命の大切さ」

平成12年度に中学校1校から開始し、令和7年度は10校中8校で実施しています。母性や父性を培うと共に命の大切さについて学習する機会となっております、生徒か



(H12年度～R6年度までに通算約7000人の生徒が体験しました。)

らは「将来、自分が子育てするとき、活かせるようにしたいです」等の感想が聞かれています。



山梨県中央市愛育会「思春期ふれあい体験学習」

平成13年度から中学3年生を対象に実施。保健師の「命の講義」、「赤ちゃん抱っこ体験」で赤ちゃんの抱っこや母親との交流、妊婦体験で命の尊さや自分や相手を大切に思う気持ちを育む教室となっております。

る。中学時代に、抱っこ体験をした生徒が、ママ、パパとなってこの体験学習に参加する循環が生まれています。

岡山県愛育委員連合会「思春期ふれあい体験学習」

平成19年度から、岡山県の委託費

「地域ではぐくむ思春期のこころとからだの健康支援事業」等を活用して全県下で実施。今後も、赤ちゃんふれあい体験を通して、地域連携の強化を促していきます。

思春期ふれあい体験学習とは ①

対象 中・高校生

目的

愛育委員が、思春期の子どもたちや、子どもを育てている保護者に、声かけ、交流等を通して普及啓発を実施することにより、子どもも親も温かい見守りを実感しながら、親友とふれあう、生命や命の大切さを思春期の健康づくりに関する正しい知識を身につけ、健全な子育て環境づくりを推進する。

内容

- 赤ちゃんの人形を使った事前学習
- 妊婦体験
- 実際の赤ちゃんとのふれあい体験
- 保護者との交流や育児相談の共有 等

参加者の反応

生徒から

- 自分と同じように育ててもらったんだと感謝の気持ちが入りました。
- 命の大切さを改めて感じた。
- 手紙では大変だと、赤ちゃんはかわいかった。
- 赤ちゃんとお話できる機会がないので、とても貴重な体験になった。
- 自分の将来の目標になった。このふれあい体験で自分自身に自信が持てた。
- 参加している子育て中の方が、みんな楽しそうだった。子育ては大変なんだろうけど、意外と楽しいものかもしれないと思った。
- 楽しかった。でもずっと驚かせているのは大変だなと思った。
- 赤ちゃんはかわいかった。可愛かった。赤ちゃんを初めて見る。また中学校で中学校に来てほしいと思った。
- 毎日、赤ちゃんをお世話しているのは大変さを感じた。
- お母さんに聞いてもわかってもらえず赤ちゃんはともてん子で育てたので、お母さんは特別な存在なんだと改めて感じ、かわいさを感じた。そんなかわいさや赤ちゃんになりたい。

乳幼児の保護者から

- 活動の場さんにとってもやさしく感じてもらえたので、将来、赤ちゃんが生まれてからもっともっと関わりたいと思った。
- 「私もこんなふうな子どもと関わりたい」んだと実感になった。

学校担当者から

- 自分より小さい子どもや赤ちゃんに関する知識がかなり増えてきた。
- 活動は大変だけれども、生徒にとって貴重な機会をきっかけに気づいている。

愛育委員から

- 中学生と小さい子どもが遊んでいる姿を見て、心が暖かくなりました。感動して涙が出た。参加して良かった。
- 地域の愛育委員と中学生が交流できるのは、この活動のいいところ。
- 今後の活動を各々の子育てに活かしてほしい。



グループに2、3人の赤ちゃんが来てくれました

愛育委員や保健師のサポートも充実

② 「みんなの愛育班」に今年度、以下の情報が投稿されました。

「みんなの愛育班」を積極的に活用してください。投稿するもよし、投稿された活動や研修内容を観て参考にすることもよし！ みんなの活動を知りたい、私の班の活動を伝えたい。そんな交流ができる班員限定のサイトです。

○子育て支援 情報

- ・長崎県川棚町愛育会「おたっしャランド」2025年3月26日（動画）
- ・岡山市愛育委員協議会 新米ママに「子育て応援地図」をプレゼント

○健康づくり 情報

- ・埼玉県こしがや母子愛育会 「大相模すこやか教室 夏まつり 縁日で遊ぼう」
- ・兵庫県豊岡市竹野愛育班を見学しました「喫茶ぱんぷきん」を訪ねて（動画）

○班員研修 情報

- ・シンポジウム「愛育・地域づくり活動交流会」（令和7年11月5日）（動画）（本部）
- ・新任愛育委員研修会（岡山市愛育委員協議会）
- ・令和7年度実技研修会（母子愛育会埼玉県支部）
- ・「女性の生涯を通じた性と健康」百枝幹雄愛育病院病院長（埼玉県母子愛育のつどい講演会）（動画）

○班長会議・総会等

- ・第43回ひょうご愛育の集い—兵庫県愛育大会—2025年7月16日（動画）

③ 「こんな活動で地域を元気にしています！」では、動画配信しています。

母子愛育会本部が取材した動画や、愛育班から提供された動画が視聴できます。



- 観音寺市愛育会「グーチョキパーで愛・♥️・あい」
- 小豆島あいきく会 「この島で、子育てをもっと楽しく」
- 「喫茶ぱんぷきん」を訪ねて
- 岡山県愛育連合会創立70周年記念大会
- 坂出市愛育会「ミニ運動会」

（注意）

「みんなの愛育班」にアクセスするにはパスワードが必要です。市町村の愛育班事務局にお訪ねください。または、愛育推進ホームページの[お問合せフォーム](#)にご連絡ください。



健やか親子21
シンボルマーク



令和7年度健やか親子21全国大会

令和7年11月28日にこども家庭庁において表彰式を行いました。本会会長表彰に育成者1名、本部推薦で内閣府特命担当大臣表彰を2団体が受賞されました。

祝！健やか親子21 内閣府特命担当大臣表彰

杵築市山香愛育班（大分県）
羽生市母子愛育会連合会（埼玉県）

祝！恩賜財団母子愛育会会長表彰

武野 真澄（大分県中部保健所 育成者）

組織調査結果報告 (2025年8月30日現在)

- 愛媛県の愛育班がすべて解散となり、愛育班の設置は全国15県、114市町村になりました。そのうち6市町村が休会中です。
- 単位愛育班数は407班で、今回解散届があった単位愛育班は13班です。
解散や休会理由は、少子化の影響、役員後継者がいないなどがあがりました。全国的に深刻化している課題は、役員の高齢化と次期役員の選出問題のようです。
- 愛育班員数は前年より1,363人減の28,706人です。
- 活動報告では、多彩なイベントの開催や愛育だよりで情報発信など、楽しく活動している様子が伝わります。また、“できる人が無理せずやれる時に”をモットーに、少ない班員でも負担なく継続できる工夫を凝らしている報告も多くみられました。

これからも、地域の実情に合わせた愛育班活動を進めていきましょう！



令和8年度の愛育推進部の活動

◆ 情報発信

全国の愛育班活動や、本部の活動を発信する愛育推進ホームページを充実させます！
皆さんからの投稿で情報交換できる「みんなの愛育班」のページへの投稿もお待ちしています。(パスワードについては各事務局にお問合せください)

◆ リーフレット「地域の絆で住民の健康と子育てを支える愛育班」

ホームページからダウンロードして地域への配布や会員のお誘いにご利用ください。



◆ 人材育成

- ・ 令和8年度は、愛育班等組織育成者研修会を開催します。
- ・ 県や市で計画する班員研修会等に当会の専門職を派遣します。愛育推進部にご相談ください。
- ・ 新規の班員募集や班員育成に活用できる研修動画をHPで公開しています。
動画1「愛育班活動の原点を知る 住民の健康課題に取り組む愛育班」
動画2「地域の絆で子育てを支える 子どもが安心して育つ地域をつくる一員になりませんか」



物販

申込方法は、愛育推進HPをご覧ください。

- ✦ 愛育班員手帳2026 「愛育班活動の基本」をリニューアルしています。(定価) 550円(税・送料込)
- ✦ 愛育班活動紹介DVD「今日も声かけつながり合う地域」 1枚 1,100円(税込・送料別)
- ✦ 知ろう・活かそう 地区組織～コミュニティワークの実際 1冊 1,100円(税込・送料別)
- ✦ 愛育班員バッチ(ピンタイプ) 550円(税込・送料込)
- ✦ 愛育班員バッチ(キャップタイプ) 660円(税込・送料込)

お申込：愛育推進HP 教材・刊行物等の申込フォーム

お問合せ：TEL 03-3473-8335



愛育推進部メッセージ

令和7年度は、プレコンセプションケア元年といわれており、市町村では様々な取り組みが始まっています。聞きなれない言葉に戸惑いもありますが、若い世代の方への「健康づくりに必要な最新の知識」と捉え、まずは班員さんが知ることから始めてみてはいかがでしょうか？地域の子どもの育ちを見守り続けられる愛育班の強みを生かして、自分たちのできることを考えてみてください。